

# 出題の具体例

## 実践問題のイメージ②

### 【薬の効くプロセス】

薬物の臓器への到達と消失 … 代謝 … 薬物代謝酵素が薬効に及ぼす影響 ほか

### 医療薬学【医薬品の作用】

医薬品の安全性 … 副作用発現に影響する因子 … 併用薬

医薬品の体内動態 … 代謝 … 代謝酵素の阻害と誘導

### (出題2)

高血圧で通院中の38歳男性。2000年10月よりニフェジピン徐放錠(20mg)を1日2錠、朝夕食後服用し、血圧は良好にコントロールされていた。しかし、2003年3月に他院で結核治療のため、イソニアジド錠(100mg)1日3錠、毎食後、リン酸ピリドキサル錠(20mg)1日3錠、毎食後、リファンピシンカプセル(150mg)1日3カプセル、毎食前に服用するようになってから、血圧のコントロールが不良となった。

問1 この患者の血圧コントロールが不良となった原因として、最も考えられるものはどれか。

- 1 イソニアジドの服用によりニフェジピンのカルシウムチャネル遮断作用が減弱した。
- 2 リファンピシンの服用によりニフェジピンの代謝酵素が誘導された。
- 3 リン酸ピリドキサールの服用によりニフェジピンの吸収が阻害された。
- 4 イソニアジドの服用によりニフェジピンの腎排泄が促進された。

問2 この患者の血圧コントロールを改善するため、ニフェジピンを他剤に変更したい。結核治療は継続しているとして、選択可能な薬物はどれか。

- 1 塩酸プロプラノロール 2 アムロジピン 3 ニトレンジピン 4 カンデサルタンシレキセチル